4. アカデミックマナーを学ぶ

学術的な文章とは？　引用のマナー
参考文献リストの書き方

目標：引用の仕方や参考文献の書き方など、学術的な文章を書く際の基本的なルールを理解する

ここからは、アカデミックマナーについて紹介します。
アカデミックマナーとは、研究を行う上で、守らなければならないルールのことです。
ここでは、レポートを書くときに注意すべき点を説明します。

レポートの種類

	内容
説明型	内容を理解したかどうか説明する 例）授業内容の要約レポート、ブックレポート、調べ学習レポート
報告型	実習での成果を報告する 例）看護等の臨床実習報告、短期留学の成果報告
実証型	与えられたテーマについて、実験や調査を行い、その結果に基づき**実証**する
論証型	与えられたテーマについて**論証**する

参考）井下千以子(2019)『思考を鍛えるレポート・論文作成法』第3版, 慶應義塾大学出版会, p. 40.

レポートには大きく分けて4つの種類がありますが、今回は論証型レポート、つまり、与えられたテーマについて論証する型のレポートについて説明します。

レポートは「学術的な文章」

1. テーマ（**問い**）に対する**結論**がある
2. 様々な**情報を収集・整理**して、それらを基に**論理的に**文章を組み立てている
3. 論拠のない思いつきや、感想を書き連ねない
4. 他者の文章やデータを引用・参照した場合、必ず**出典を表示**し、文末に**参考文献リスト**を付ける（剽窃・盗用は厳禁！）

レポートとは、学術的な文章のことを言います。
論証型レポートとは、次のような4つの特徴を持っています。

（1）あるテーマに対する結論がある。
（2）様々な情報を集め、整理し、それらを基に論理的な文章を組み立てている。
（3）論拠のない思いつき、感想は書かない。
（4）他の人の文章や、データを引用したり、参考にした時は、必ず出典を表示し、文末に参考文献リストを付ける。

出典を表示せずに他人の文章を使うことは、盗用とみなされ、厳しく罰せられます。
他人の文章を正しく引用できるよう、詳しい方法をみていきましょう。

引用のルール

1. **必然性がある場合のみ、正しく引用する**
   引用の必要があるか（自分の意見の根拠となる等）を考える。著者の意図を無視した抜き出し方は厳禁。
2. **過度の引用をしない**
   自分の文章がメイン。
3. **自分の文章と引用文を区別する**
   〈直接引用〉引用文が短い場合は、「」（かぎ括弧）や ” ”（引用符）で囲む。長文の場合は、段落を下げる、フォントサイズを下げる、行間を取る等する。
   〈間接引用〉元の文章の意味を変えずに要約し、「○○[著者]は○○と指摘している」等、明らかに引用であることがわかる表現にする。
4. **引用文の出所（出典）と著者名を明記する**
   引用文（自分の意見の根拠）に誰でもアクセスできる
   ＝レポートの信頼性が担保される。

他人の文章を引用するには、次のようなルールがあります。

（1）引用する必要があるときだけ、引用する。
自分の意見の根拠になるなど、引用するための理由があるかを考えてください。
著者の意図を無視して、自分の都合の良いように抜き出すことは厳禁です。

（2）過度な引用をしない。
レポートのメインは自分の文章です。必要なところだけを引用しましょう。
分野による違いはありますが、引用部分は、全体の1割から2割に留めます。

（3）自分の文章と引用部分を区別する。
直接引用の場合は、引用部分は括弧でくくる、改行するなど、そこが引用した文章であることを明示します。
間接引用の場合は、要約して、明らかに著者の意見であることがわかる表現にします。

（4）引用文の出典と著者を明記する。
引用文は、自分の意見の根拠です。
根拠とした文献に、誰でもアクセスできるようにしておくことが、レポートの信頼性を守ります。

どのように「出典の表示」をするか

（レポートの例）

……郡司は不快な感じを与えない音の要因として刺激の少なさを挙げ、フルートの音を「一般に高音域の部分音の混ざり方が控え目であるので、柔らかく、多くの人に快く感じられる」[1]と述べる。……

1. 郡司すみ, *世界の音: 楽器の歴史と文化* (東京: 講談社, 2022), 153.

参考文献

郡司すみ, *世界の音: 楽器の歴史と文化*. 東京: 講談社, 2022.

引用・参照した部分を明示する
(括弧でくくる)

注を付ける※
(注番号を付け、引用ページを示す)
※注を付けない引用方法もあります

参考文献リストに出典を記載

引用文の出所を示すことを「出典の表示」と言います。
レポートに引用したい文章がある場合、具体的にはどのように書けば良いでしょうか。例を見てみましょう。

まず、引用部分であることがわかるように引用します。今回の例は引用部分が短いため、括弧で囲みました。
次に注を付け、引用ページを示します。
そして、レポートの最後に「参考文献」として、出典の情報を書きます。
出典の情報とは、引用または参照した文献の書名、著者名、出版年などのことです。

なお引用の方法にはいくつか種類があり、注を付けず、本文中に引用ページを書く場合もあります。

正しい引用・参照例はどれ？

1. 石川は、消費者にとって「容リ法で規定する容器包装の分類は自明ではなく、しばしば迷う」[1]ことを挙げ……

   1. 石川雅紀, “日本の循環政策の成果と課題,” 国民経済雑誌 215(5) (2017): 21.

   【参考文献】
   石川雅紀, “日本の循環政策の成果と課題,” 国民経済雑誌 215(5) (2017): 1-27.

2. ……しかし、容器リサイクル法で規定する容器包装の分類は消費者にとって分かりにくく、それがごみの分別協力への心理的な障害となっていると考えられる。

3. 石川(2017)は容リ法について、消費者にとって分類が自明ではない点および、その分類法が技術的・経済的に合理的とは言い難い点を問題点として指摘しており……

   【参考文献】
   石川雅紀. (2017). 日本の循環政策の成果と課題. 国民経済雑誌, 215(5), 1-27.

先ほどの説明を踏まえて、１～３の文章を読んでください。
正しく引用できているのは、どれでしょうか？

正しい引用・参照例はどれ？（解答）

1. 石川は、消費者にとって「容リ法で規定する容器包装の分類は自明ではなく、しばしば迷う」[1]ことを挙げ……

1. 石川雅紀, “日本の循環政策の成果と課題,” 国民経済雑誌 215(5) (2017): 21.

【参考文献】
石川雅紀, “日本の循環政策の成果と課題,” 国民経済雑誌 215(5) (2017): 1-27.

2. ……しかし、容器リサイクル法で規定する容器包装の分類は消費者にとって分かりにくく、それがごみの分別協力への心理的な障害となっていると考えられる。

3. 石川(2017)は容リ法について、消費者にとって分類が自明ではない点および、その分類法が技術的・経済的に合理的とは言い難い点を問題点として指摘しており……

【参考文献】
石川雅紀. (2017). 日本の循環政策の成果と課題. 国民経済雑誌, 215(5), 1-27.

正しく引用できているのは、1番と3番です。

1番は引用部分をかぎ括弧でくくり、出典も示されています。
3番にはかぎ括弧がありませんが、元の文章を要約して引用している例です。元の文章の意味を変えずに要約し、出典を示していれば、正しい引用と認められます。

一方で2番は、出典の表示がありません。まるで自分の意見のように書かれています。

誤った引用をしてしまうと…

- **他人の意見を自分の考えのように書いている**
- **出典が示されていない**

2. ……しかし、容器リサイクル法で規定する容器包装の分類は消費者にとって分かりにくく、それがごみの分別協力への心理的な障害となっていると考えられる。

出典の内容を改変したり、出典を示さずに文章を引用すると、文章やアイデアの**剽窃・盗用**とみなされます。
剽窃・盗用は、単位や学位の取り消しなどの重い罰則が科されることもある不正行為です。

他の人の文章や意見を参照したにも関わらず、引用のルールを守らなければ、盗用・剽窃とみなされます。
カンニングと同じように、重いペナルティが科されます。

出典の表示は著作権法でも定められているルールです。
法律的にも自分のためにも、引用は正しく行ってください。

（剽窃やコピペをチェックするツール（剽窃チェッカー）などもあります）

参考文献リストの書き方

一例です。
書き方に指示がある場合は
それに従ってください。

シカゴ・スタイル (notes and bibliography systemの場合)

【図書】著者名. *書名*. [版表示.] 出版地: 出版社, 出版年.
【論文】著者名. “論文名.” *雑誌名* 巻, 号 (出版年): 掲載ページ.

APAスタイル (7版の場合)

【図書】著者名. (出版年). *書名* [(版表示)]. 出版社.
【論文】著者名. (出版年). 論文名. *雑誌名*, 巻(号), 掲載ページ.

SIST02 スタイル

【図書】著者名. 書名. [版表示,] 出版地, 出版者, 出版年, 総ページ数.
【論文】著者名. 論文名. 雑誌名. 出版年, 巻(号), 掲載ページ.

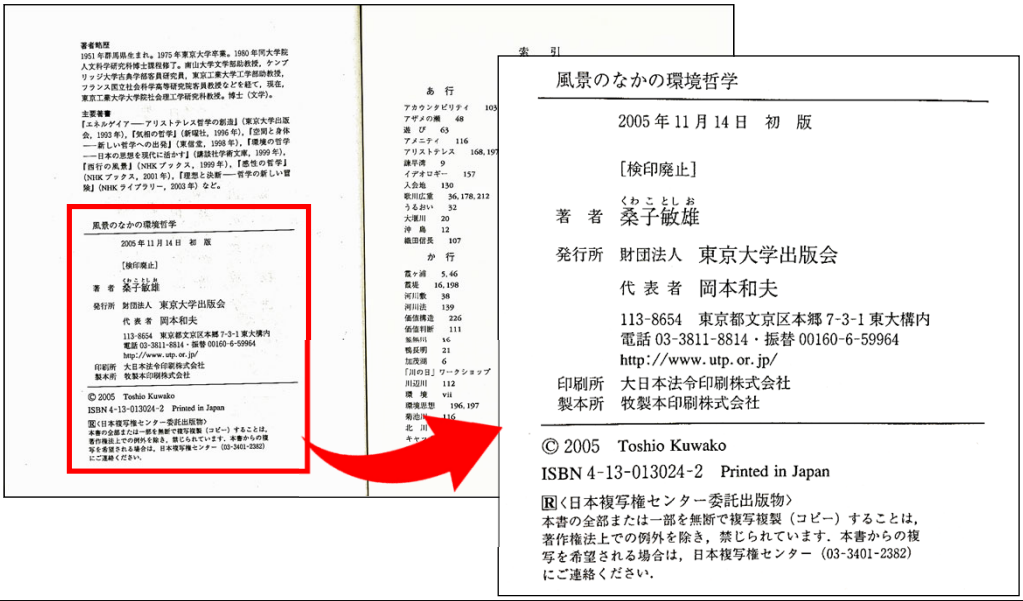
ここからは、引用や参照をした文献の出典を記す際に、書かなければいけない情報について説明します。

図書の場合は、著者名・書名・版表示・出版者名・出版年などを記載することが一般的です。
論文の場合には、論文の著者名とタイトル、そして、その論文が載っている雑誌の情報が必要です。

ただし、出典の書き方は分野によって、ここに示したような多様な書き方があります。
各項目の細かい並び順などについては、適宜先生の指示に従うようにしてください。

情報源を見る

日本の図書の場合、詳しい情報は巻末近くの「奥付」に記載されています。
※洋書はタイトルページとその裏に記載あり

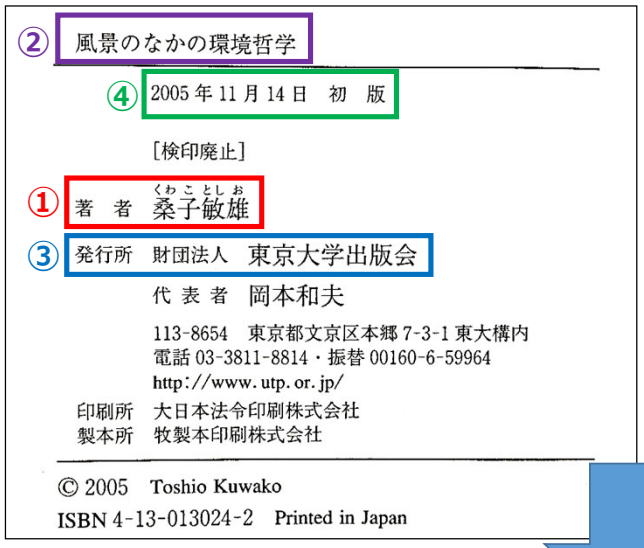


出典として記す情報が、どこにあるか確認しましょう。

日本語で書かれた本の場合、図書の後ろの方に、奥付というものがついていることが多いです。
ここに詳しい情報が記載されているので、この奥付をメインの情報源として利用しましょう。

洋書の場合はタイトルページとその裏に必要な情報が記載されていることが一般的です。

和書の情報


② 風景のなかの環境哲学

④ 2005 年 11 月 14 日　初　版

［検印廃止］

① 著　者　桑子敏雄（くわことしお）

③ 発行所　財団法人　東京大学出版会

代 表 者　岡本和夫

113-8654　東京都文京区本郷 7-3-1 東大構内
電話 03-3811-8814・振替 00160-6-59964
http://www.utp.or.jp/

印刷所　大日本法令印刷株式会社
製本所　牧製本印刷株式会社

© 2005　Toshio Kuwako
ISBN 4-13-013024-2　Printed in Japan

① 著者名

② 書名

③ 出版者

④ 出版年月日・版刷表示

参考文献記載例: SIST02

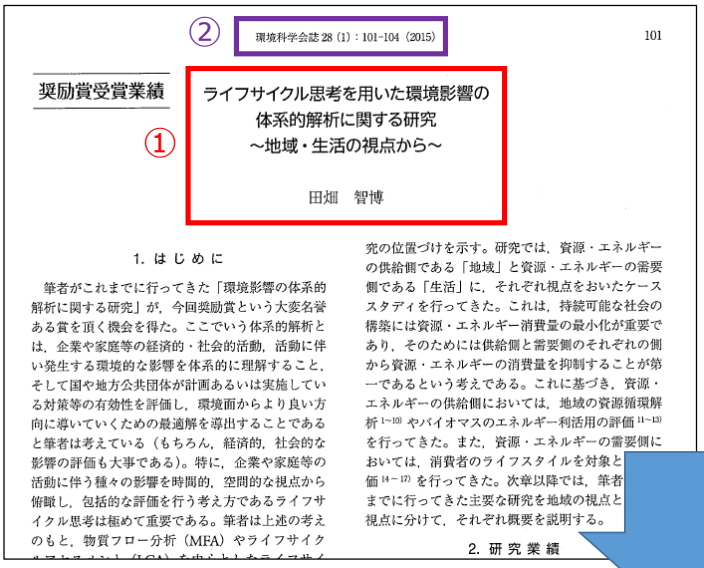
桑子敏雄. 風景のなかの環境哲学. 東京大学出版会, 2005, 268p.

では、実際に奥付から参考文献リストに記載する情報を書いてみましょう。

必要な情報は著者名、図書のタイトル、出版社、出版年などでしたね。
例えば、SIST02スタイルであれば、スライド下側のように記載します。

（SIST02スタイルは、東京が出版地の場合は省略することができます）

雑誌論文の情報


②
環境科学会誌 28（1）：101-104（2015）
101

奨励賞受賞業績

①
ライフサイクル思考を用いた環境影響の
体系的解析に関する研究
～地域・生活の視点から～

田畑　智博

1. はじめに

筆者がこれまでに行ってきた「環境影響の体系的解析に関する研究」が，今回奨励賞という大変名誉ある賞を頂く機会を得た。ここでいう体系的解析とは，企業や家庭等の経済的・社会的活動，活動に伴い発生する環境的な影響を体系的に理解すること，そして国や地方公共団体が計画あるいは実施している対策等の有効性を評価し，環境面からより良い方向に導いていくための最適解を導出することであると筆者は考えている（もちろん，経済的，社会的な影響の評価も大事である）。特に，企業や家庭等の活動に伴う種々の影響を時間的，空間的な視点から俯瞰し，包括的な評価を行う考え方であるライフサイクル思考は極めて重要である。筆者は上述の考えのもと，物質フロー分析（MFA）やライフサイク

究の位置づけを示す。研究では，資源・エネルギーの供給側である「地域」と資源・エネルギーの需要側である「生活」に，それぞれ視点をおいたケーススタディを行ってきた。これは，持続可能な社会の構築には資源・エネルギー消費量の最小化が重要であり，そのためには供給側と需要側のそれぞれの側から資源・エネルギーの消費量を抑制することが第一であるという考えである。これに基づき，資源・エネルギーの供給側においては，地域の資源循環解析[1~10]やバイオマスのエネルギー利活用の評価[11~13]を行ってきた。また，資源・エネルギーの需要側においては，消費者のライフスタイルを対象と
価[14~17]を行ってきた。次章以降では，筆者
までに行ってきた主要な研究を地域の視点と
視点に分けて，それぞれ概要を説明する。

2. 研究業績

① **論文の情報**
論文著者名
論文名・特集名

② **雑誌等の情報**
雑誌名・掲載巻号
論文掲載ページ等

参考文献記載例: SIST02

田畑智博. ライフサイクル思考を用いた環境影響の体系的解析に関する研究: 地域・生活の視点から. 環境科学会誌. 2015, 28(1), p.101-104.

参考までに、論文を引用した場合の参考文献の書き方もご紹介します。

雑誌論文の場合は、論文の著者とタイトルを書いた後ろに、その論文が載っている雑誌名と掲載巻号・掲載ページを記載します。

参考文献情報の並べ方

著者名順(ハーバード)方式

日本語の場合は著者名の五十音順、英語等の場合はアルファベット順にリストアップします。

【本文例】
しかし、高度経済成長期に最も大きな影響を被ったのは河川であった（桑子, 2005, p.46）。…中略…岩田ら（2013, p.47）は、「中小河川における面源からの排出負荷量は、過小評価されている可能性がある」と指摘する。

【参考文献リスト例】
岩田杉夫ほか (2013). 中小河川からの栄養塩負荷の流出特性. 水環境学会誌. 36(2), p.39-47.
桑子敏雄 (2005). 風景のなかの環境哲学. 東京大学出版会, 268p.

注番号順(バンクーバー)方式

本文で参照・引用した順にリストアップします。

【本文例】
桑子[1]によると、高度経済成長期に最も大きな影響を被ったのは河川だという(p.46)。…中略…岩田ら[2]は、「中小河川における面源からの排出負荷量は、過小評価されている可能性がある」(p.47)と指摘する。

【参考文献リスト例】
(1) 桑子敏雄. 風景のなかの環境哲学. 東京大学出版会, 2005, 268p.
(2) 岩田杉夫ほか. 中小河川からの栄養塩負荷の流出特性. 水環境学会誌. 2013, 36(2), p.39-47.

次に、参考文献の情報をどのようにリストアップするかについてです。
複数ある参考文献の情報の並べ方には、大きく分けて２つの方式があります。

１つは、著者の名字の順番に並べる方法です。
日本語の場合は名字の50音順に、英語の場合は名字のアルファベット順に並べます。

もう１つは、本文のなかで引用・参照した箇所に数字をふって、引用・参照した順番に並べる方法です。

分野によって採用している方式が違うので、こちらも、適宜先生の指示に従うようにしてください。

参考文献リスト作成時の注意点

- 情報に間違いがある
- 情報が足りない
- 記述スタイルが統一されていない
- タイトルを勝手に省略する

参考文献リストの情報に間違いや漏れがあると、リストを見た人が出典にたどり着けなくなります。

参考文献リストを作成する際の注意点です。

出典の情報に間違いや不足があると、皆さんのリストを見た人が情報源の文献にたどり着けないこともあります。
正確に書くよう、注意してください。

今後、レポートや論文を執筆する際には、ここに書いている点に注意して、自分の分野や先生の指示に従い、参考文献リストを作るように意識してください。

参考文献

石井一成『ゼロからわかる大学生のためのレポート・論文の書き方』ナツメ社, 2011.

井下千以子『思考を鍛えるレポート・論文作成法』第3版,慶應義塾大学出版会, 2019.

小笠原喜康『大学生のためのレポート・論文術』最新版, 講談社, 2018.

木下是雄『レポートの組み立て方』筑摩書房, 1994.

河野哲也『レポート・論文の書き方入門』第4版, 慶應義塾大学出版会, 2018.

戸田山和久『論文の教室: レポートから卒論まで』最新版, NHK出版, 2022.

大阪大学附属図書館『「図書館活用法」教材』<https://www.library.osaka-u.ac.jp/research/literacy/jokiso/>, (2023-11-24)

慶應義塾大学日吉メディアセンター『KITIE—KEIO Interactive Tutorial on Information Education』<https://www2.lib.keio.ac.jp/project/kitie/>, (2023-11-24)

この講義では、レポート課題が出たと仮定して、資料の探し方や引用の作法などについて説明しました。
レポートの書き方や作法についてもっと詳しく知りたいと思われた方は、ここに挙げたようなレポート・論文の書き方の本やサイトもお読みください。
また、各館で「レポート・論文の書き方」に関する図書を集めたテーマ展示が行われることもありますので、そちらもご利用ください。

以上で、情報の活用の内容は終了です。
これからの学修・研究に、しっかりと図書館を活用していってください。